

いわた ともき
岩田 朋樹



プロフィール

出身地：兵庫県伊丹市
着任：令和2年9月
勤務地：商工観光課(～R5.3)
農林振興課(R5.4～)

地域おこし協力隊に着任してから4年半という期間を経て、この度任期満了を迎えます。高畠町に来た初日、夜はまったく車が通らず「静かだな」と思い、空を見上げると満点の星が見えて感動したことを今でも覚えています。「おしょーしな」の意味も分からないところからスタートしましたが、町のみなさんからのサポートをいただき、一年目から充実した日々を送ることができました。

観光業務では町のお祭りやイベントに参加し、多くの人と知り合うことができました。また、今まで築いてきた町の文化や四季折々の景色を体感することで、町の魅力を引き出していきたいという思いが強くなりました。コロナ禍での活動でしたが、自分にできる範囲で町を盛り上げたいと考え、パンフレット作製やSNS投稿、動画作成に力を入れました。ありがたいことに多くの人から反応をいただき、次に繋がる活動が生まれられました。私だけでなく、声をかけてくださった人も「何かしたい」という思いがあったからこそだと感じたので、町民のみなさんとの繋がりを感しました。



農業研修では2年間ご指導いただき、大粒ぶどうをメインに桃やラ・フランス等の果樹栽培を学びました。初めて知ることばかりで、覚えるのに必死な生活を過ごし、あっという間に月日が過ぎてしまいました。ですが、自分で手をかけて作ったものが世に出ていく喜びや、時間を忘れて太陽と共に生活する日々は私にとって最高の時間であり、今後も極めていきたい道となりました。



今後の活動

山形に来るまでは、まさか自分がこれから農家となり生活していくとは思っていませんでしたが、着実にそのスタートラインに立てたことを嬉しく思っています。不安もありますが、お世話になった人に「こっちに来てよかったな」と言ってもらえるような果樹農家を目指します。



高畠町 地域おこし協力隊 2024 活動報告書



～地域おこし協力隊の活動を
各種SNSで発信しています～



高畠町地域
おこし協力隊
Facebook



高畠町地域
おこし協力隊
Instagram



YouTube
高畠町公式
チャンネル

「高畠町地域留学」とは

県外で暮らす若者に、「高畠での暮らし」を体験してもらう企画です。約1週間滞在し、高畠町のユニークな人たちと共に生活や仕事をしてもらい「暮らし・なりわい・コミュニティ」を体験します。

今年度は、農作業を体験するコース、企業等を訪問し職場体験や製作体験、取材などを行うコースを設け、大学生を中心に全国各地から参加していただきました。

熱中小学校が事務局となって令和4年から実施しており、地域おこし協力隊は参加者を受け入れる際の業務全般をサポートしています。



「地域おこし協力隊」とは

都市部に住んでいる人が、人口減少や高齢化等の課題を抱える地方に移住し、地域の魅力PR・お祭りやイベントの運営等、様々な「地域協力活動」を行いながらその地域への定住・定着を図る総務省の取り組みです。

高畠町では、令和6年度末時点で5人の協力隊員が活動しています。

◆問合せ先/企画課 ☎(52)1112



令和6年度は「高島町民を幸せにする」という活動テーマのもと、次の2つの目標に取り組みました。

- 1. 高島町の認知度向上
- 2. 農家さんの販路拡大に貢献する

この目標を達成するために、町内農家さんと飲食店の仲介事業を推進し、924,400円の売上を創出しました。初年度ということもあり、農家さんへの直接電話や園地訪問を積極的に行い、試行錯誤を重ねながら情報収集を実施し、その過程で農業へのリスペクトが一層深まりました。そして、現場での会話や農作業の手伝いを通じて、**農家さんの視点に寄り添った事業づくりの重要性**を実感しました。

また、1月には農家さんと町議会議員との意見交換会を企画し、具体的な提案や今後の展望について意見を交わす場を設けました。人と人をつなぐ役割を果たせたことに、大きなやりがいを感じています。



令和7年度からは、新たに町役場商工観光課商エブランド戦略係に所属し、ふるさと納税にも携わることになりました。これまでの経験を活かしながら、引き続き自己研鑽を積み、より多くの町のみなさんに貢献できるよう努めてまいります。



ますだ かな
増田 栞奈



プロフィール

出身地：神奈川県
着任：令和6年7月
勤務地：高島町観光協会

令和5年夏に、熱中小学校の地域留学に参加し、高島の自然と美味しいものに囲まれた豊かな暮らしに魅了され移住しました。農家さんの仲介事業やイベント企画を通して高島町の良さを伝えていきます。

町公式キャラクターを物産事業へ

私は高島町の物産事業をさらに盛り上げるべく活動を行っています。1年間のうちに数多くの県外物産展に携わり、町の魅力発信に努めているところです。

一方で、町公式キャラクターの「たかっきはたっき」の事業も受け持っています。昨年5月公開の「好きでも嫌いなあまのじゃく」という山形県を舞台にした映画では、登場キャラクターとの共通点から舞台挨拶に招待いただき、監督や演者のみなさんとメディアの取材を受け、高島町の魅力をPRしてきました。



今後の私の展望としては、「**町公式キャラクターをブランド化し、物産事業に有効活用する**」というものです。町内企業とゆるキャラのコラボ商品開発の推進や、企業でのイベント等、活用方法は様々です。しかしまずはゆるキャラが企業のメリットとなるようブランド力を高めることが先決と考え、日々広報活動に取り組んでいるところです。

活動期間も折り返しとなり限られた時間の中ではありますが、今後の戦略の基礎作りをメインにがんばっていきます。どうか応援のほどお願いいたします。

かねこ たく
金子 拓



プロフィール

出身地：川西町(Uターン)
着任：令和5年10月
勤務地：高島町観光協会

関東圏で開催された高島町の物産イベントに携わる機会があり、そこで観光や物産に興味を持ちました。協力隊として高島町を盛り上げる手伝いをしたいと思ったことがきっかけで、地域おこし協力隊になりました。

たまむら ゆうと
玉村 優人



プロフィール

出身地：大阪府
着任：令和6年10月
勤務地：商工観光課

昨年7月に、地域おこしインターンとして高島町へ移住して以来、町での暮らしも10ヶ月が経ちます。私は「中高生を主な対象とした教育の魅力化」に取り組んでいます。

【活動の概要】

現在は、中高生が混ざり合い、町のみなさんとも関わっていく「地域とつながる学び場」作りに取り組み、昨年12月には「たかはたフェス」を実施しました。フェスでは中高生がキッチンカーの誘致やコンテンツの企画・運営を担当し、その後の活動として1月～3月の期間には「リアルワークチャレンジ」を企画し、「働く」について考え、10,000円を稼ぐプロジェクトに挑戦してきました。その際には、**学生たちが主体となりビジネスアイデアの立案から実施まで**を行いました。

【生徒たちの様子】

最初は「できるかな」と不安そうだった子どもたちも、挑戦を重ねる中で「次はこうしてみよう!」と主体的に動くようになりました。試行錯誤を重ね成功や失敗を経験する過程で学びを深め、成長していく姿が印象的です。現在はプロジェクトごとに参加者を募っていますが、**来年度からは常設の学び場を開設予定**です。「高島町で育ってよかった」「学び場に来たから出会えた将来の進路があった」と言ってもらえるような学びの場作りをしていきます。

末筆になりますが、地域のみなさんの日頃からのご協力に心より感謝申し上げます。引き続きよろしくお願いたします!



まつばら ゆう
松原 由侑



プロフィール

出身地：新潟県
着任：令和6年5月
勤務地：高島熱中小学校

森や山、緑溢れる場所にいたいという思いで高島にやってきました。自然をはじめ、豊かな地域資源を活用したアクティブでユニークな企画づくりを模索する毎日です。まずは人づくりからと考え、人の活力の底上げ・創出に向け邁進しています。

学び舎運営と仕事体験の記事づくり

大人の第二の学び舎である高島熱中小学校(旧時沢小学校)で、様々な授業づくりを主たる業務として行う傍ら、「まずは町のことを知ろう」と農家さん、移動販売事業者さん、宿泊事業者さん、お菓子屋さんまで幅広くお仕事を経験させていただきました。町の産業や歴史、暮らしや人となり、この地で息づく人の想いの一端に触れる中で私の私なりの気づきや感じたことを実際の活動内容とともに『**協力隊の高島トライアル**』として記事にまとめました。



▲協力隊の高島
トライアル記事



▲活動・イベント
情報はこちら



心と体を使って遊び、縁を育む

今この瞬間に夢中になることを大切にしたいという思いから、**レクリエーション×デイキャンプ(通称レクキャン)**と題し、落ち葉を使ったツイスターや高島をテーマにしたカードゲーム等で遊び交流する企画を実施しました。今後は、より自然との融合を意識し、芸術による表現も取り込み、内容を発展させていきます。

人生に心地よさを感じて生きる人が増えるよう、その人が本来持っている活力を引き出し、今と未来を盛り上げる場づくりに奔走したいと思います。

